

ぎょうだ  
**自治連だより**

第89号  
 編集・発行  
 行田市自治会連合会  
 広報部 会



下忍地区花いっぱい  
 推進運動の様子



令和2年度から旧行田市コミュニティ協議会の事業を継承した当連合会と「下忍小学校周辺をきれいにする会」との共催により、小学校周辺に設置してある2カ所の花壇に、季節の花を植えるため年3回、そのほか公民館にも植栽を行っております。

花を植えるということで、単に花で飾るだけではなく、たばこの吸い殻やごみを散らかさないといった機運が地区内に広がっていくことも願っております。

花や緑は、市民が健康的で心豊かな文化生活を送る上で大きな役割を担っており、身近な生活空間に季節あふれる花や緑があることは人々に癒しや潤いを与え、日々の生活を豊かにするものであり、四季折々の花を植えることにより、緑化に対する意識の高まりを図ることが出来ます。

このことから継続的に本事業を実施してまいりたいと考えております。

下忍地区連合会長 山口善次

# 地区防災事業実施報告

## 地区防災事業概要

行田市自治会連合会では、地域の防災に関する課題を自らの手で解決し、自治意識の高揚を図るため地区防災事業を実施しています。

今年度については、昨年度と同様にコロナ禍でも実施可能な事業に限り開催いたしました。

コロナ禍にも負けない活発な自治会活動を通して、まちを元気にしていくほか、行田市における「自助」「共助」の力を高めるために、本掲載内容を参考として、今後の本事業へのご協力をお願いいたします。

また、今号では星河地区と埼玉地区の様子を紹介します。

## 星河地区防災訓練を実施しました

今年度は自治会長17名で大規模災害に備えて星河地区内の河川の視察を行い、危険箇所などを確認しました。

視察に先立ち、より充実した研修を実現するため、市から利根川水系中川流域の水害情報地図を提供していただきました。

活動の概要及び感想については次のとおり報告いたします。

### 1、訓練概要

・現場把握の意義を中川流域の地図を使用して説明した。

・星河17自治会を南部地区・北部地区に分け、地区を流れる河川のうち北進大橋周辺、星河の新忍川への水門、新忍川と忍川の合流地点の現場を視察した。

・視察後に1時間程度、公民館で報告会を行った。

### 2、報告会での感想など

・周辺住民への聞き取りにより、停電時の取水制御に不安があることが分かった。

・忍川と新忍川合流地点での増水が心配である。

・行田市全体の停電時の水門制御の詳細が分からない。など

今回地区内視察は初めての試みでしたが、災害が発生した際の避難所までの安全な避難経路の確認をするなど、災害に備えるための事前準備の重要性を感じました。

星河地区全体の防災訓練については今後も継続的に実施していきたいと思えます。

星河地区連合会長  
河辺 孝幸



## 埼玉地区防災訓練を実施しました

当連合会では、埼玉自治会連合会自主防災協会を組織し、

連合会主催での防災活動を行っており、昨年度及び今年度はコロナ禍により地区自治会長を中心に実施いたしました。埼玉地区の特徴として、平成20年に各自治会に自主防災組織が一斉に組織されました。

災害が発生した場合に、いち早く対応しなければならぬのが地区自治会であるため、各自治会の自主性を尊重しながら17自治会を8ブロックに分けて「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念に基づき、資料提供やビデオを利用した講義を行うなどブロック別自主防災訓練を行っております。

また、当連合会の自治会研修会において、自主防災協会による講義形式の防災訓練を行っております。

本年度は、行田市の洪水・地震ハザードマップ、防災倉庫の資機材の確認、ファミリールーム・マスク・消毒液・手袋・非接触型体温計を補充、「新潟中越地震を教訓に学ぶ」等

の資料を自治会長等へ提供し訓練を行うとともに避難所として指定されている埼玉公民館の玄関、トイレ、非常口の確認などを行いました。

災害に備えるためには、継続的な訓練の実施による防災意識の向上が重要であるため、来年度以降についても防災事業を実施して参りたいと思います。

埼玉地区連合会長  
萩原 実



埼玉地区における防災講演会の様子

# 新任自治会長研修



令和3年12月12日(日)、教育文化センターにおいて、本年度及び昨年度から新たに就任された自治会長のうち96名参加のもと、新任自治会長研修を新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施し、開催しました。

今年の研修は4部構成とし、1部は連合会役員の説明により、自治会組織の主な役割や事業の運営方法など自治会活動を進めていく上で必要かつ基本的なことを中心に取り上げました。

具体的には、地域住民の親睦を図る行事などを通して顔の見える地域をつくることなど、自治会の基本的な活動目的に関するもののほか、役員任期を2年とし事業や活動の継続性が保たれるような体制づくりを進めていくことの必要性について講義を行いました。

2部では行政からの説明として、市の補助制度や市と自治会が締結している協定について説明を受けました。

3部では初の試みとして現役自治会長による事例説明として江原・横田両地区連合会長から自治会長として活動する上での心構えなどについて説明がありました。

4部では福祉課、社会福祉協議会より、いきいき・元気サポート制度や支えあいマップに関する説明がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、本研修の開催も危ぶまれましたが席を一つあけ徹底した新型コロナウイルス感染症対策により無事に開催することができました。

来年度以降も本事業による自治会運営の支援を図って参りたいと思います。

研修部会長 高鳥 和子

## 今一度基本的な感染症対策の徹底を!!

### 正しい手の洗い方

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

(出典：厚生労働省)

皆さんは感染症の予防対策を十分に実践されていると思いますが、感染症対策の基本である手洗いの徹底など、改めて私たちにできる感染症対策を心がけましょう。

ここでは手の洗い方について掲載いたしますので参考にしてください。

## みんなでつくりよう!明るい地域 ~頼れる自治会~

自治会は、地域の方々がお互いに住みやすく、安全に、明るく楽しく暮らすためにつくられた住民による住民のための自治組織です。

住みよい明るい地域をつくるため、改めて自治会の活動に目を向けて皆さまも活動に参加してみませんか。

### 『自治会の主な活動』

- **地域を守るための活動**  
子どもや高齢者の見守り活動、防犯灯の設置  
防犯パトロールなど
- **災害につよいまちづくり**  
防災訓練、災害用備蓄倉庫の管理等の自主防災活動
- **地域のふれあいを育む活動**  
夏祭りや伝統文化の継承など
- **きれいな地域をつくる活動**  
地域の公園や広場の管理、地域の清掃活動など
- **地域と行政をつなぐかけはし**  
市のお知らせなどの配布は回覧、市への要望など

### 『自治会の重要性』

明るく暮らしやすい地域をつくるためには、その地域に住んでいる皆さんの協力が必要不可欠です。この考え方は今も昔も変わっておりません。

防災や防犯、地域特有の課題など、地域生活に密着し個人での解決が難しい課題を、自治会全体で共有することで円滑に対処できる可能性が高まります。

地域の主役はそこに暮らしている皆さんです。私たちとともに自治会ひいては地域を元気にしていきましょう。



行田駅前郵便局への配架の様子

※新規配架施設への配架部数には限りがございますのでご了承ください。

- 新規配架先
- ・行田市内各公民館
  - ・行田郵便局
  - ・行田駅前郵便局
  - ・行田中央総合病院

皆さまのご協力により配布させていただいている自治連だよりについて、自治会活動の更なる周知を図ることを目的に自治会配布や市役所における配布以外にも市内の一部の施設、郵便局、病院での配布をさせていただくことといたしました。

該当施設関係者の皆様におかれましては自治連だよりの配布にご協力頂きありがとうございます。

該当施設にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

ぎょうだ自治連だよりの配架先を追加しました



編集後記

梅の開花だよりが各地から届く今日この頃、ぎょうだ自治連だより第89号を無事発行することが出来ました。

親しみやすい紙面づくりにするためには、どのようにするか広報部会の会議で意見を出し合い、表紙題名に「ぎょうだ」を追加するほか、分かりやすい自治会活動内容及び広報の配架先などを検討いたしました。

皆様にも楽しく読んでいただける幸いです。

また、執筆いただいた自治会長様においては、ご協力ありがとうございました。

広報部会員 小川 勢津雄



ぎょうだ自治連だよりの電子版はこちらから!

●自治会に関する情報を発信しています。